

硬質ウレタンフォーム

(1) 特長

硬質ウレタンフォームは微細な独立気泡構造により優れた断熱性能を有し、経済的な厚みで優れた断熱性が得られます。また、その特長として高い自己接着性を有することにより、ラミネートボードや注入パネルなど異種材との一体成形ができ、現場での吹付け工法も可能で複雑な構造物に対しても隙間の無い連続した断熱層を作ることができます。これら多様な製品・工法により、硬質ウレタンフォームは住宅用断熱材として幅広く使用されています。

(2) 主原料及び製造方法

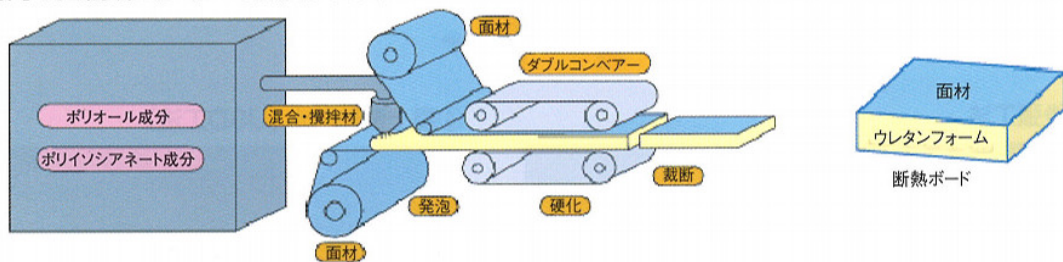
●主原料

硬質ウレタンフォームとはNCO（イソシアネート）基を2個以上有するポリイソシアネートとOH（ヒドロキシル）基を2個以上有するポリオールを、触媒（アミン化合物等）、発泡剤（水、フルオロカーボン等）、整泡剤（シリコンオイル）などと一緒に混合して、泡化反応と樹脂化反応を同時に行わせて得られる、均一なプラスチック発泡体です。

●製造方法

ラミネート成形

工場内の連続成型ラインで製造します。



主な用途

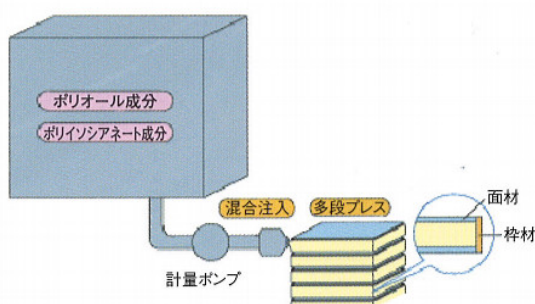


住宅

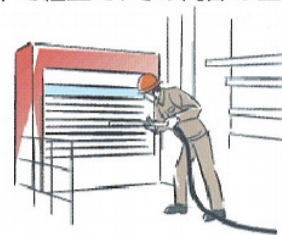


注入成形

工場内の設備で製造します。鋼板などの表面材と枠材を加圧プレスの中で組立て、その内部の空間にポリウレタン原液を注入し、発泡させます。

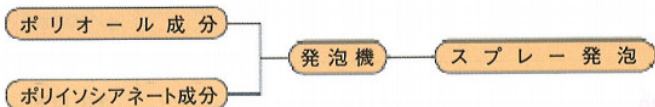


主な用途



スプレー発泡

現地で直接施工します。材料の合わせ目がなく、工期と費用の低減ができます。



主な用途

